



なかにし ひでとし
中 西 秀 俊
(奥和会)

●国体を契機にスポーツ文化の発展と もっと幸せなまちへ

質問 平成28年国体の7競技開催地としての市の見解は。宿泊施設は統一的环境が望まれる。

ホテルニュー江刺イーズの宿泊施設の再開要請は重要では。各会場設営の準備など、可能な限り地元業者に依頼することで、関わる意識が向上し市民総参加、ボランティアの協力が得られるのでは。国体を契機にスポーツ文化の発展につなげ、国体関連でもっと幸せなまちへつなげて行きたいが。

市長 国体を契機として全国に奥州市を紹介する絶好の機会である。本大会では、市内宿泊施設のみでは不可能で、近隣市町への広域配宿とそれに伴う輸送計画、シャトルバスの運行仮設駐車場の整備が必要で県と連携して確保、整備に努めている。来奥する方々をおもてなしの心でお迎えし、市民、関係団体、行政が一丸となり大会を盛り上げる。

質問 市体育協会からの15の要望について、会場となる施設・設備や、備品の整備や選手育成強化の充実が必要でないか。

市長 要望の内容については、

実行委員会及び市として取り組むべきものに大別され関係部署間で調整検討をして進めている。

質問 未来のトップアスリート育成は継続的な取り組みが肝要。行なわれた子ども議会でもスポーツ推進のまちに期待を寄せた。中学校のクラブ活動は指導者を含めた環境の充実、高校への進路相談でも生徒は志を高く望める対応を。

教育委員長 青少年は、国体やオリンピックという大きな舞台への憧れと夢を抱く。スポーツ振興に関わる関係者と広く連携しながら市から一人でも多くのトップアスリートを輩出できるように努める。



いわて国体をPRする水沢環境公社協賛のパッカー車広告



さとう いくお
佐 藤 郁 夫
(市民クラブ)

●『まちづくりビジョン』の策定は ●森林整備計画のマスタープランは ●汚染牧草の処理施設の建設はいつか

質問 国際リニアコライダー誘致に向けての市としての「まちづくりビジョン」の策定状況は。

市長 ビジョン策定に向け先進事例調査として、カナダ、アメリカの大学、研究機関の現地視察と沖縄科学技術大学院大学の現地視察に職員が同行し先進的なまちづくりについて研修してきた。また、千葉県柏市の「柏の葉アーバンデザインセンター」を視察し、公・民・学の連携に向け新しいまちづくりについて研修してきた。これらに基づき奥州市が目指すキャンパス像や地域の将来像について優先的に取りまとめ、段階的に熟度を高めていきたい。

質問 森林整備計画のマスタープランは。

市長 平成25年度から34年度までの10年間で一期とする「奥州市森林整備計画」を策定している。10年間で市内467・81ヘクタールの間伐を実施する。平成26年度は江刺区、前沢区で

62・5ヘクタールを実施する予定である。

質問 汚染牧草の処理施設の建設が遅れているが、その建設時期と処理完了の予定は。

市長 地域の合意を得ている江刺区について、汚染牧草を焼却処理する前段に必要な「裁断処理」する前処理施設について、環境省との事前協議が整った。12月中に入札を行い、平成27年5月中に整地工事を完了し、処理施設建設に入る。6月から裁断処理を開始し、完了は28年4月末を見込んでいる。



処理される汚染牧草